

放送番組センターレポート

BROADCAST PROGRAMMING CENTER OF JAPAN Report

公益財団法人 放送番組センター

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター
TEL.045-222-2881 FAX.045-641-2110 <https://www.bpcj.or.jp/>

■「オリンピック・パラリンピックを学ぼう!展2020」

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、7月16日～9月12日、オリンピック・パラリンピック放送を盛り上げる恒例の企画展を開催した。今回は、TOKYO2020公認プログラムとして、NHKと日本民間放送連盟との共催、またオリンピック・パラリンピック関係諸機関の後援および協力を得て開催した。緊急事態宣言発令下での開催で、来場者数は限られたが、オリンピックやスポーツファン、夏休みの親子連れ、自由研究のためという小・中学生を中心に、様々な年代の方が来場した。



会場では、オリンピックと共に発展してきたスポーツ放送の歴史やオリンピックとパラリンピックの大会の歴史を、パネルや貴重な資料の展示で振り返った。また、前半は東京2020で実施されたオリンピック33競技、後半はパラリンピック22競技について詳しく紹介。パラリンピックは、オリンピックとは異なる独自のルールも紹介した。その他、今大会の各競技の公式ユニフォームや日本選手団オフィシャ

ルスポーツウェア、アートポスター全20種類などを展示。会場に用意したフォトスポットでは、大会マスコットのパネルや、横浜市の開催競技場の巨大タペストリーの前で撮影を楽しむ姿が多く見られた。



会期中は、オリンピック・パラリンピックにまつわるクイズを実施。子供から大人まで、展示を見ながら熱心にクイズに解答する姿が見られた。

来場者からは、「コロナ禍でオリンピックに触れる機会が無かったが、展示を見て実感できた」「放送技術にも触れられていて良かった」「トーチやポスター、ウェアの実物が見られた」「両大会への理解が深まった」「パラリンピックの展示が勉強になり、テレビを見るのが楽しみになった」など多くの感想が寄せられた。



■番組を視聴する会「料理番組」

9月16日～10月3日、「見て楽しい!作っておいしい!? 料理番組の30年」と題した「番組を視聴する会」を開催した。1925年のラジオ放送開始と共に始まり、時代に合わせて変化を続けてきた料理番組。今回は過去30年間の変遷を辿り、料理や食という普遍的なテーマを、作り手がどのように工夫し視聴者に伝えてきたかを感じられるテレビ・ラジオ番組20本を取り上げた。会場には、上映番組の関連書籍や放送当時のテキストを展示した。番組は以下のとおり。

『ひとりでもできるもん!』『食彩浪漫』『味楽る!ミミカ』『きょうの料理50年 さあ!料理しよ。クッキングコンテスト』『グレーテルのかまど』『人生読本 辰巳芳子(1)～(3)』『ラジオ深夜便 明日へのことば 鈴木登紀子』(以上NHK)、『宮城のチカラ 元気みなぎる食のチカラSP』(東日本放送)、『料理天国』(TBSテレビ)、『モグモグGOMBO』(日本テレビ)、『二人の食卓 ありがたいレシピ』(テレビ朝日)、『料理の鉄人』(フジテレビ)、『キューピー3分クッキング50周年スペシャル』『同 ビーフシチュー』(以上CBCテレビ)、『高校生レストラン 世界をもてなす』(三重テレビ)、『おばあちゃんの台所 菜めし』『同 ごま豆腐』(以上テレビせとうち)、『どーんと鹿児島 奄美シマジュウリ紀行』(南日本放送)。

■教育機関での番組利活用

【上智大学】

2021年度春学期、文学部新聞学科「デジタルアーカイブ論」(柴野京子准教授)で、放送番組センターが著作権を持つテレビ番組6本が利用された。この授業は2016年度から行われており、番組アーカイブを実践的に学ぶことを目的として、番組のメタデータ作成の実習を行っている。今回は新たな試みとして、番組のカット表を作成する実習も行われた。学生たちの関心は高く、実習を通じてデータ作成やデジタルアーカイブの重要性を実感したといい、次年度以降も作業を継続し、データベースのバージョンアップを図ることも検討されている。

【広島大学】

2021年度第2ターム、教養教育「日本国憲法」(畑浩人講師)の授業で、『NNNドキュメント'07 声の壁 発言できない議員』(2007/中京テレビ放送)が利用された。

【帝京山梨看護専門学校】

2021年度、看護学科1年「看護学概論」、3年「看護倫理」の授業で『NHKスペシャル あなたの声が聞きたい“植物人間”生還へのチャレンジ』(1992/NHK)、『NHKスペシャル あなたの声が聞きたい2“植物人間”と家族の闘い』(1993/NHK)が利用された。

【鎌倉女学院高等学校】

2021年度、3年「美術特講」の授業で『情熱大陸 彫刻家 舟越桂』(1999/毎日放送)が利用された。

■公共施設での番組利活用

【吉村昭記念文学館】

7月6日と8日、11日、同館が設置されている複合施設・ゆいの森あらかわ(東京都荒川区)内ゆいの森ホールで「吉村昭 関連映像上映会」が開催され、放送ライブラリーの公開番組が利用された。番組は『青春の昭和史 [1] 遠い日の戦争』(1979/テレパック・テレビ朝日)、『新テレビ私の履歴

書 吉村昭』(1990/日経映像・テレビ東京)の2本。参加者からは、「吉村先生を偲ぶことができた」「今後も継続して上映会の開催を希望する」等の感想が寄せられた。10代の参加者からは、「吉村昭について分かりやすく知ることができた」との感想があるなど、若年層のファン獲得へのきっかけともなった。

【平谷村(長野県)】

8月19日、平谷村役場ホールで、平谷村教育委員会主催、地域おこし協力隊の企画による「平谷村 ドキュメンタリー番組上映会」が開催され、『NNNドキュメント'83 素顔の戦士たち～“里親の村”の三年～』(1983/日本テレビ)が上映された。参加者からは、「現在も平谷村に住んでいる人が登場し、懐かしかった」「改めて村の歴史を勉強しようと思った」等の感想が寄せられた。

上映会に加え、9月1日より、教育委員会が運営する施設「ひらひら平谷」で、同番組の視聴が開始された。

■2021.6～2021.8の公開番組

【テレビ番組】

『ロング・グッドバイ』[1] [5・終]

2014.04.19,05.17 / NHK

『けさない灯り 山の診療所』

2018.05.26 / テレビ静岡

『映像'07 夫はなぜ、死んだのか

過労死認定の厚い壁』

2007.12.10 / 毎日放送

『NNNドキュメント'16

汚名 放射線を浴びたX年後』

2016.06.27 / 南海放送

『生きて“カエル”

～海軍士官が残した書～』

2016.11.07 / 大分放送

【ラジオ番組】

『ドキュメント・原爆ドーム前』

2017.08.06 / NHK

『午後はとことん よろず屋ラジオ

許せない! 特殊詐欺 絶対に

だまされないぞ スペシャル!』

2018.05.29 / 福井放送

など、テレビ142本、ラジオ39本。

◆新公開番組 PICK UP!

岐阜にイジュー! [1]～[10]

2017.04.25～06.27 / 名古屋テレビ

出演者: 柳英里紗、水崎綾女ほか

プロデューサー: 永井拓郎、松岡達矢

脚本: アサダアツシ

監督: 森義隆

名古屋テレビ放送開局55周年を記念し制作された「移住促進ドラマ」。監督は、テレビマンユニオン出身で実写版『宇宙兄弟』などを手がけた森義隆。

都会生活に見切りをつけ、田舎で新生活を始めようと岐阜県白川町にやってきたアラサー女性・美晴と花。軽い気持ちで移住してきた2人は、当初は都会のルールが通用しない田舎暮らしに戸惑いを隠せなかったが、豊かな自然の中、農業や狩猟、冠婚葬祭、果ては婚活パーティなど様々な体験を経て、

自分たちの居場所を見つけていく。

サブタイトルである「GIFU NEED YOU!」の通り、「白川町への移住促進」を目指し、町の全面協力のもと制作された。主人公が暮らす家は町に実在する古民家が選ばれ、地元住民も多く出演。主演の2人は、1ヶ月間白川町で生活をしながら撮影に臨むなど、“リアル”な移住生活を描くことにこだわった。また全編を通して、田舎暮らしの長所・短所どちらも描かれており、具体的に移住を考えている人にも参考になる作品となっている。

放送後、町への問合せは増加し、2世帯が移住を決めた。放送ライブラリーでは、このドラマの第2弾として舞台を4市町村に拡大した『イジューは岐阜と』(全10回)も公開している。

◆放送ライブラリー公開番組数

テレビ番組17,952本 / ラジオ番組4,805本 / テレビ・ラジオCM11,962本 / 劇場用ニュース映画2,683項目 (2021.9.30現在)